

活動名 子ども森林ボランティア養成講座 「もりメイトキッズ」	団体名	もりメイト倶楽部Hiroshima
	地域	広島県広島市
	代表者	会長 見勢井 誠
	支援金額	40万円
活動概要		
<p>森林整備体験をしながら、森の大切さ、まもり方を学ぶイベント開催(年4回) 対象→主に小学生とその家族</p> <p>森はわたしたちの宝物！ 家族と一緒に、地域と一緒に、森づくり活動体験を通して、豊かな心と森を育てていきましょう！ (荒れた森を、子ども達と共に、整備を進め、森づくりを考え、森の生き返る様子を実感する。) →『感育』『楽力』『食育』をテーマに入れて、五感を使って感動・感性・感謝の気持ちをはぐくむ「感育」 をはじめ、ものつくりを楽しむ力、健全な食生活を実践できる体験教育</p> <p>◆実施時期 第1回 6月13日(日) →雨天のため延期、第1回 8月1日(日) 第2回 10月3日(日) 第3回 12月5日(日) 第4回 3月6日(日) 広島県大竹市松が原町の私有林(会員所有)「松ヶ原フィールド」</p> <p>◆参加人数 8/1 →29名 10/3→58名 12/5→53名 3/6 →67名 参加総人員 207名</p>		



「もりメイトキッズ」 集合



「もりメイトキッズ」 学習風景



遊べる森をつくろう！ バランストレイル



「森と動物とほくらの食べ物事情」 パン作り

◆実施に伴う効果

参加者は大変満足し、楽しみ、学びがあったと評価。普段の生活では見られない積極的な姿が見られた、など保護者の評価も高い。

スタッフ：研修をして、実践することによるスタッフのスキルアップ。
交通費、研修を助成していただくことにより、スタッフのモチベーションもあがり活動の質も高まる。備品や材料費などのおかげで、満足なプログラムを、提供できた

学生スタッフ：小グループを担当し、こどもたちと密に関わることで、子どもたちの満足感、安心感が高まった。学生自身も、はじめて森で活動し、新たな感動と、市民活動の意義を感じ、成果を得たと大学関係より感想をいただいた。

地元：廃校となって寂しくなった里山に、大勢のひとが遠方より訪れることにより、地域も活性化。子どもたちの声が響くことだけでもなによりありがたい、とコメントをいただいた。来年度はさらに関わりを深め、地域振興会より毎回参加、郷土料理を交え参加者ママとの交流を企画し、発展させる。

チラシをきちんとつくることのできたので、広報に役立った。
助成にマツダ財団の名前があることで、活動に評価がいただけます。他の企業にも協力のよびかけがしやすかった。

◆苦労した点

地域への協力要請、PR、大竹市や廿日市市などの森林系や、子育て系の市民団体と協力連携した活動をしていきたいと思うが、実際に動き回る余裕がない。
主なスタッフは、仕事をもっており、時間が不足。若手スタッフを育てる必要がある。

◆今後の課題・発展の方向性

役割分担 → プログラム各内容でリーダーをきめ、リードする。
昼食準備を参加者ママ等も加わり、里山の料理や 地元のおかあさんとの交流の場とする。
子ども達は、遊びたい。その気持ちを大切に、プログラムをつめこみすぎず遊ぶ時間を設ける。
参加しやすい体制、年会費は廃止、料金も一律1,000円に、シンプルにする。
参加者へ報告や案内送付等したが、スタッフの手間をへらすためメールでやりとりする、密に情報提供する。
地域より、地域振興会と連携する。森の名前を地域の産直市とおなじ「わくわく」をつけイメージ統一。地域振興会長に毎回、地域の紹介に登場要請。

課題： 地域と若手リーダーの発掘、育成

◆活動を終えての感想・意見等

助成いただいたことで、4年目の活動を実施することができました。一年間、事故もなく、参加者も笑顔で終わられました。おかげさまで、スタッフは交通費とイベント時は食事つきのボランティア活動にできました。

2011年度も五年目として活動に入りました。

今後ともよろしく願い申し上げます。